

# 磐城時報

印刷所 磐城時報社  
印刷部 磐城時報社  
電話 磐城時報社  
社址 磐城時報社  
支店 磐城時報社

## 平署剣道優勝

### 去大正十年以來實に十三年目で 榮えの大優勝旗獲得

縣下警察官武道大會の制覇目差得たに全署員の喜は非常なるに勇躍出場した高松主將(三)のである。  
段)佐藤副將(初段)桑原、高子  
の平署剣道軍は高松主將以下の  
奮闘物凄く各警察署軍を破破し  
高松、佐藤の正副將共も勝残り  
榮えある大優勝旗を獲得。更に  
に個人優勝戦には高松三段全勝  
で一等、佐藤副將また高松主將  
に破れたのみで二等の壓倒的成  
績を示して横山署長以下同日午  
後六時二十二分着列車で凱旋  
盛大な祝勝會を催したが、去大は今年二十四日午前十時から平町  
正三年第一回、大正九年第七回役場會議室に於いて平支部中島  
同十年第八回優勝以後實に十三裁判長が臨席戸籍法の研究講演  
年目にして四度目の大優勝旗獲があつた。

## 井上縣議出發

縣議井上茂作氏は大日本消防協  
會常任理事として福井市に於け  
る消防御親臨に參列の爲め明日  
十五日午後平出發、歸平は來月  
上旬の豫定。

## 戸籍事務研究

石城  
郡町村平支部の戸籍事務研究會  
は今日午後二時平支部會  
議室に於いて平支部中島  
同十年第八回優勝以後實に十三裁判長が臨席戸籍法の研究講演  
年目にして四度目の大優勝旗獲があつた。

## 電氣町營業實現に

### 町是調査會本腰

#### 昨日第一回協議會の結果 期待される今後の活躍

平町では昨二十三日午前十時懸案たる町電氣營業實現の實現  
ら町是調査會の第一回協議會を促進する事になり仙臺、酒田  
開備青沼町長、井上、野崎正副其の他電氣市、町營の先進都市  
議長以下鈴木光、萩原、多田井に參考資料を求むる事になり次  
吉田金、馬目雅の各委員出席先いで内郷村大字小島字新町部落  
づ平町の恒久的財源を發見するの合併案を協議内郷村との交渉  
事が先決問題なりとして多年の進行を遂げるべく申合せたが、最後

## 自動車ポンプ

### 水勢試験

平消防組のハンドポンプ自動  
車は豫ねて東京で不良所の修  
繕中であつたが完成二十一日歸  
平したので二十四日午後一時  
から水勢試験を行つた。

## 絞川水利議員

### 石城郡小 選舉愈々迫る

石城郡小  
絞川水利組合では来る十一月  
五日組合議員廿四名の改選を  
執行すべく去る十五日現在を以  
て目下名簿調製中であるが来る  
一日から七日間を名簿締結期間  
とし十一日を以て確定する筈で  
ある。今回は多年の懸案となつ  
てゐた疏水復舊工事も始まらん  
としてゐる折柄でもあり選舉は  
競争激甚となる模様である。

## 怪魔の片鱗を見せて

### 正吉少年熟睡

#### でも少年らしい素直さで自白 明日中には送檢

(昨報) 怪魔少年佐藤正吉(一日夜歸平した鈴木代議士は今日二  
五假名)は昨二十三日午後六時  
十四日午前七時二十五分平署發  
までに既報犯行の一切を自白し  
たので菊地司法主任は書類整備  
の上明二十五日午前中に送局す  
る事になった、留置場第二號室  
の一隅に泣き續けてゐた正吉は  
流石に取調に對してはスラ／＼  
と少年らしい素直さで自白した  
が同日午後全犯行を自白した氣  
安さからか監視中の警官に話し  
かけたなり夜は八時頃から大層で  
熟睡する等不敵な怪魔の片鱗を  
見せてゐる。

## 川瀬炭礦上層坑問題

### 極度に悪化警戒中

石城郡赤井川川瀬炭礦上層坑は破壊せんとしたところ今田氏側  
九月十二日來川瀬幸治氏が坑口は驚きまことに亂闘に至らんとし  
を閉鎖今田久治氏等の採掘を停たが平署員が駆けつけことなき  
止したところ今田等四名はあくを得た。川瀬氏は數日中には是  
まで斤先権を主張して頑張り今非とも採掘を開始するといきま  
田氏等も坑口に錠をかけ四十余き兩者の形勢俄に險惡となつて  
日を経た現在なほにらみ合つて來たので平署で警戒中である。

## 老衰を苦慮した老婆

### 四倉海岸で投身自殺

今二十四日早朝郡境四倉海岸の行ひ各人五局膠屋によつて順位  
被打ぎはに打上げられてゐた老  
婆の瀕死體があるのを通行中の  
あり盛會を豫想されてゐる。  
由來棋仙の集會は川井氏の主唱  
で生れ毎回同氏が全部の費用を  
負擔し多大の犠牲を拂つて今日  
に至つたものでこの點に於て全  
國に比類なき集會と言はれ遂に  
日本棋院より認められるに至つ  
たもので川井氏の努力に對し圍  
棋關係者は感謝してゐる。

## 湯本町役場新築

湯本町役場は今現在役場裏  
に新築する事となり工事を進め  
て居る。

## 川井重之氏主催の

### 第六回棋仙の集會

#### 二十九日川井氏宅に開く 石城地方の大手合せ

石城の圍棋界を代表する平町南海岸同氏宅で發會以來回を重ねぬ  
町川井内科診療所川井重之氏主催の事五回、發會者は地方圍棋界  
從「棋仙の集會」は来る二十九の代表者を網羅し地方に於て比  
日午前九時から川井氏宅に於て類のない大手合せである。勝負  
開催するが同會は昭和三年豊間は東西兩軍に分れて對抗試合を前  
農銀平支店長河西八十治氏は

## 大喜びの

### 横山署長談

別項榮えの大優勝旗を十三年振  
りて獲得した選士高松主將以下  
も從え凱旋した横山署長は喜に  
包まれながら  
高松君の奮闘は物凄くものだ  
つたが佐藤君の努力も大いし  
たもので若松に最近轉じた傑

## 美味と滋養

### 名高い井の

## 牡蠣料理

二十一日から

友鈴木郁二段をさへ破り決勝  
に残つて呉れた事が此の優勝  
を齎したもので高松君對福  
島原田三段の一戦の如き事實  
上の決勝戦だけに火を吐くば  
かりの激戦で萬場總立になつ  
て觀戰する程に熱狂した、勿  
論高松君以下の努力の結果だ  
が精神的結合の力が此の好果  
を導いたもので前日湯本の怪  
魔少年逮捕あり、今また此の  
喜に浸れる私は署長として感  
慨無慮絶叫したい程の喜にあ  
る。

## 河西氏送別

### 昨夜本店で

郡植田町を中心として行ふ青訓  
聯合演習に山砲隊の派遣を申請  
する事その他の協議をなす等。

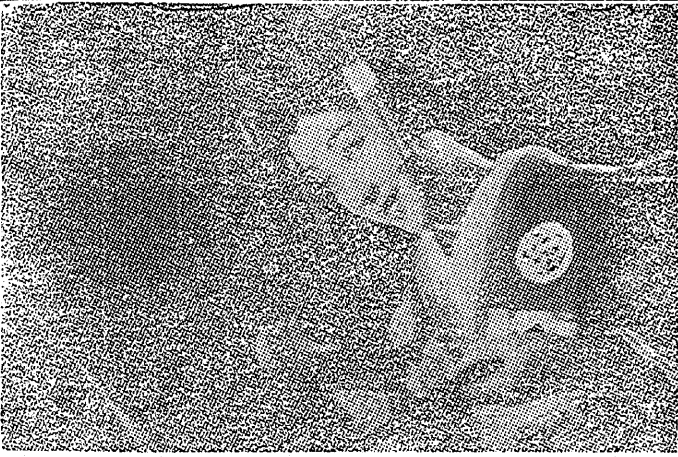
### 産名島松

獨カキフライ 廿五錢  
 カキナベ 四十錢  
 スカキ 廿五錢  
 一の井 一六七番

## カキ貝 御料理

美味と滋養で名高い 一の井の

梗概——瀧の白糸は北陸一帯を巡業する見世物師の中でも一際優れた水藝の太夫だった。或年の初夏、金澤での興行の折、白糸は馬車會社の取組をしてゐるが、志堅く高い理想を持つた、青年欣彌と知り合ひ戀を語るやうになつた。そして彼を立派に仕上げるために東京に送り、興行から得る金を仕送つて法律を勉強させた。欣彌を想ふ情の厚いやうに欣彌のために白糸は金を大切にしなければならなかつた。だが一座の若者新藏と南京出及打の看板娘撫子との儂い戀を見ては欣彌に送る金さへ投げ出す快氣の白糸だつた。撫子を苦しめてゐた親方の南京はこのことから白糸を恨むやうになり、やがて秋が來て白糸が欣彌に仕送る金に窮し高利貸岩淵から血の出るやうな思ひで貰つた金を歸り道の時間待ち伏せて強奪した。金を奪はれて昂奮した白糸は意識を失ひ、夢遊病者のやうに或る家に入り己が意識をとり戻した時はその家の主人を殺してゐた。愕然としたが欣彌に送る金の事のみを考へて、その場にあつた金を掴んで飛び出し、東京に奔つた。そして皮肉な運命は白糸を殺ぐ検事として欣彌を起した。恩愛と法律のジレンマに陥ちて欣彌は苦み苦んだが法は歪られず白糸に死刑を宣した……(世界館上映)



### 瀧の白糸

原作……泉鏡花  
 監督……溝口健二  
 撮影……三木茂  
 配役……  
 入江たか子  
 村越金彌  
 岡田時彦

### 婚禮の期節になりました

御婚禮の御仕度は

勉強本位で品物に責任を持つ

平町字鍛冶町

## 吉田屋呉服店へ

電話百二十一番

於島縣下第九回清酒品評會

### 銘酒



賞等優最 領受

平町田町 永山酒店  
 電話二〇七番

支那そば  
 なべやき  
 天どん  
 親子丼



御用命は多少に拘はらず

電話三七三番へ

生そば 平町四丁目 十一番  
 電話三七三番

### 水戸染野紋店

#### 第六支店開店

かき紋 外テープル掛  
 ぬい紋 幕一一切  
 早い。よく。そして  
 大勉強致します。

田町蛇の目カフネー向

#### 町田紋店

染野 勇太郎

水戸市第二丁目電停前

總本家 染野 常之介

平町田町蛇の目向

町田英北事

第六支店 染野 勇太郎

### 牛豚肉

平町田町  
 三三三番  
 電話三三三番

### 開店披露

今般左記に鮮魚商店を開店仕り各位様の御氣に召す様調理致すべく多少に不拘御用命の程御願申します

御注文品は遠近に不拘即達致します

十月十五日ヨリ開店

四倉町新町(松の月向)

## 音昇魚店

長谷川 昇 三郎

電話(呼)三六番

### 胃腸病加答兒の妙藥

### 健胃 ビスミット散

効能  
 ◎時候あたり◎くだり腹◎ねびるはら◎水あ  
 たり◎食しやう◎酒あたるのくだりはら◎せ  
 んきすばくくだりはら◎其他しふりはら一切

定 價 三分(三貼)三十錢(七貼)六十錢

調劑本舖 小野屋藥店

平町字四丁目 電話百四十四番

### 和洋銅鐵金物問屋

## 釜屋商店

諸橋 久太郎

電話九九九番

## 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

